

日常への まなざし

2018コレクション展 V
Gaze toward everyday life



平八郎
肉筆

福田平八郎《蛤》1952年



鈴木春信《子供を抱き上げる婦人》
明和期／前期

2019年2月8日[金]～4月2日[火]

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

前期 2019年2月8日[金]～3月5日[火]

後期 2019年3月7日[木]～4月2日[火]

○2019年3月6日(水)は展示替えのため休展

開催時間 10:00～19:00 ○金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

観覧料 一般／300(250)円 高校生・大学生／200(150)円

※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金

※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料
※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

お問い合わせ 大分県立美術館 Tel:097-533-4500



片多徳郎《午休み》1926年



高山辰雄《午後》1955年



宇治山哲平《石と盆》1951年

大分県立美術館

日常への

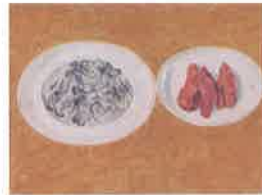
2018 コレクション展V
Gaze toward everyday life

まなざし



普段見過ごしがちな何気ない日常の光景に触発されて、創作に励んだ美術家たち。江戸期の浮世絵には、市井の人々の暮らしぶりがいきいきと描写されています。近代以降も、福田平八郎は日々の暮らしに潜む美を彩り豊かに写し出し、高山辰雄は現代に生きる人々の姿を象徴的にとらえながら、「生きる」ことの意味を問い続けました。

今回のコレクション展Vでは、日々の生活の中に息づく美を巧みにとらえた作品の数々を紹介します。



ギャラリー・トーク gallery talk

2.10[日]・24[日]・3.10[日]・24[日]

会場 3階 コレクション展示室 時間 14:00-15:00

プレミアムフライデー ギャラリー・トーク

2.22[金]・3.29[金] 時間 各日17:00-18:00

※予約不要・要観覧券観覧券

開催中の企画展

国立科学博物館・コラボミュージアムin大分

“とりになったきょうりゅうのはなし -OPAMに恐竜がやってきた!”

2019.2.2[土]~3.3[日]

会場 1階 アトリウム/3階 コレクション展示室

古代アンデス文明展

2019.3.8[金]~5.6[月] 会場 1階 展示室A

1 高山辰雄『トラックトレーラー』1996 2 糸園和三郎『ブランコの老人』1979
3 福田平八郎『うす水』1949 4 福田平八郎『金魚』1921 5 福田平八郎『柿紅葉』1949
6 福田平八郎『牡蠣と明太子』1953 7 朝倉文夫『よく獲たり』1946
8 葛飾北斎『富嶽三十六景 五百らかん寺さゝあどろ』1831-1834 後期



OPAM 大分県立美術館
beyond 2020 Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL:097-533-4500 FAX:097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分/大分ICから車で10分 <http://www.opam.jp>